

# ふくしま便り

No. 1

2016年6月10日発行

6月号

日本生協連  
組合員活動部

このたび、コープふくしまが取り組んでる被災地支援活動の様子や被災地の情報をお知らせする「ふくしま便り」を発行することになりました。



## 仮設住宅ふれあいサロン

4月度はふれあいサロンが仮設住宅6か所で7回行われました。飯舘村の仮設住宅にコープおおいた、エフコープのみなさんが訪れ、3月24日は2生協合同による「ふれあいサロン」と「炊き出し」を、4月15日はエフコープが「ふれあいサロン・交流会」を行いました。24日のサロンでは福島、博多、大分の方言比べをしましたが、はなしがまるで通じず大笑いとなりました。

また、コープながの、ユーコープ、京都生協、コープおきなわから、お菓子を提供していただきました。いつもお心遣いありがとうございます。



〈おいしい！恒例の鶏めしとだんご汁〉 〈参加者全員で炭坑節 踊り〉

### 〈スタッフの声〉

コープおおいた恒例の美味しい鶏めしとだんご汁をいただきました。「いつも寄り添っていただき感謝しております」と住民の皆様からお礼の言葉をいただきました。



## 福島の現状を知る 視察と学習会

### 【被災地視察に訪れた生協】

4月度はコープおおいた、エフコープ（2回）、富山県生協連、コープとやま、生協共立社、ユーコープ（静岡）の6生協が被災地視察を行いました。

### 【学習会】

4月2日放射性物質測定の食事調査に参加したコープふくしまの親子4組を含む14名が、日本生協連の商品検査センターを訪問しました。それぞれが持参した水や野菜の放射性物質量を実際に測ってみました。「体験もさせていただく事で、調査の難しさと信頼性を確認できました。」

「検査の状況も見る事が出来良かったです」等感想をいただきました。



＜参加した子どもたちは、スタンプラリーをしながら楽しくセンターを見学しました。＞



### 熊本、大分とつながる！ ～仮設住宅の住民からいち早い支援～

「本震」から間もない4月21日、飯舘村の住民が避難する松川第二仮設住宅の高橋自治会長さんたちがコープふくしまの本部を訪れ、支援募金15万円が届けられました。「日頃お世話になっている大分のみなさんに少しでもお役にたてればと思い支援金を募りました。コープふくしまから届けて欲しい。」この支援金は、コープおおいたへお届けしました。

また、コープふくしまから支援物資・ブルーシートを生協くまもと対策本部へお届けしました。



### 知ってますか？ ～避難者の人数～

福島県の避難者の状況（福島県の公表データから）

	2012年5月	2016年5月
県内への避難者	102,827人	50,602人
県外への避難者	62,038人	41,973人
避難先不明者	—人	20人
合計	164,865人	92,595人

避難者総数はようやく10万人を割りましたが、依然として高い水準にあります。県内避難者はピーク時から半減しましたが、県外は30%減程度にとどまっています。まだ9市町村に避難指示区域があります。

### スタッフ紹介

写真上段、左から中村宏子さん、池田親子さん、半澤教子さん、渡辺幸子さんの4名です。

福島市北幹線第二応急仮設住宅集会所（双葉町）の定例「ふれあいサロン」におじゃましました。「住民とは、心が通い皆さんがやってみたいことをお聞きし、教えたり教わったりの間柄になっています。」



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部  
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

住吉、小池